



# ネットワーク通信

熊本県認定農業者連絡会議 (事務局) 熊本市中央区水前寺 6 丁目 18-1 (県庁行政棟本館) (一社) 熊本県農業会議内 TEL (096) 384-3333 · FAX (096) 385-1468

## ■…………令和7年度(2025年度)の活動報告…………■

### 1 熊本県認定農業者連絡会議 「創立25周年記念式典」を開催！

県内約1万経営体で組織した「熊本県認定農業者連絡会議」は、平成12年4月の設立から、令和7年4月で25年の節目を迎え、令和7年8月6日(水)に、熊本市「ホテル熊本テルサ」において、「創立25周年式典並びに記念祝賀会を開催しました。

会員等延べ160人を超える参加者のもと、盛大に開催しました。

式典では、前熊本県知事の蒲島郁夫氏を招き、「逆境の中にこそ夢がある！～くまもと農業の更なる飛躍を～」をテーマにご講演いただき、熱いエールをもらいました。

これからも、本連絡会議の活動を通して、各市町村認定農業者組織の活動活性化に繋げていきたいと思ひます。

#### ◆「25周年式典」功労者表彰受賞者

- 熊本市 西原 禎二 氏 (前会長)
- 玉名市 上山 隆幸 氏 (元副会長)
- 御船町 福島 則義 氏 (前副会長)
- 熊本市 豊田 スイ子 氏 (元副会長兼女性部長)



(桑原会長 開会挨拶)



(功労者表彰 表彰状授与)



(前熊本県知事 蒲島 郁夫氏の講演)



(25周年記念祝賀会 鏡開き)

## 2 令和7年度「スマート農業活用推進研修会」の開催

- 日時：令和7年12月8日（月）13：30～16：00
- 本県参加者：35名
- 場所：合志市「熊本県立農業大学校 研修交流館」
- 内容
  - 1 講演「中山間地域におけるスマート農業技術の展開について」  
～水田球体除草ロボット等の活用～  
講師：熊本県立大学 環境共生学部 教授 松添 直隆 氏
  - 2 スマート農業技術活用の普及推進に関する意見交換



（講師：熊本県立大学 松添教授）



（水田球体除草ロボット）

## 3 社会貢献活動の実施



県内ひとり親家庭及び子ども食堂の支援にあたっている「社会福祉法人 熊本県ひとり親家庭福祉協議会」へ、会員が生産する農産物・加工品等の無償提供による継続的な応援を実施。

この活動は令和3年度から毎年取り組んでおり、今年度で5回目。

○主な応援物資：米（精米・玄米・もち米）、野菜（カボチャ・甘藷・人参・里芋）、みかん、加工品等15品目を提供



贈呈式（12月24日）

### 応援物資一覧

- ・ 精米…1,063kg
- ・ 玄米…100kg
- ・ もち米…18kg
- ・ カボチャ…160kg
- ・ 甘藷…40kg
- ・ 人参…5kg
- ・ 里芋…3袋
- ・ みかん…60kg
- ・ ロングライフ牛乳等…39ケース
- ・ 加工品、等



## 4 「第27回全国農業担い手サミットinかごしま」への参加

- ・ 期日：令和7年10月23日（木）～24日（金）
- ・ 全国の農家が集まり、農業の未来をテーマに意見を交わす「全国農業担い手サミット」が鹿児島県で開催。鹿児島市会場「川商ホール」には、全国から約2,000人の農家が参加（本県からは約100人の参加）。
- ・ サミットは2日間の日程で開かれ、23日（木）は全大会、24日（金）は鹿児島県内6地域に分かれた現地研修会が開催された。
- ・ 令和8年度の開催は新潟県。開催時期は令和8年11月17日（木）～18日（金）。



（全体会会場の様子）



（現地視察研修の様子（肝属地区））

## 5 令和7年度「女性部現地研修会」の開催

- 期日：令和8年3月9日（月）（宮崎県都城市での研修）
- 参加者：24名
- 視察研修①「『農事組合法人 きらり農場高木』の視察研修」（宮崎県都城市高木）
  - ・ （農）きらり農場高木の経営概要  
法人設立年月日：平成18年4月25日  
構成員数：343名  
経営面積：203ha  
主な経営内容：水稲、バレイショ、大豆、甘藷、防除作業、6次化への取組み（特産品「ガネ」の製造・販売）等
- 視察研修②「焼酎の里 霧島ファクトリーガーデン（(株)霧島酒造）（宮崎県都城市志比田町）



（きらり農場高木 松原組合長）



（きらり農場高木 山中生活部長）

## 6 「2025年度九州地域認定農業者サミットinくまもと」の開催

- 開催日：令和8年1月22日（木）～23日（金）
- 場所：熊本市「ホテルメルパルク熊本」（22日）
- 主催：九州5県（福岡県・長崎県・大分県・鹿児島県・熊本県）認定農業者組織
- 参加者：315名
- ◆九州5県の認定農業者が主催し、毎年持ち回りで開催している同サミットを、本年度は熊本県で開催。今回は、各県から農業現場の第一線で活躍する若手農業者が、「経営改善」や「経営継承」等の5つのテーマ毎に事例発表を行った。  
本県からは、新規参入（第三者継承）をテーマに、果樹成木園を新規参入で継承し、現在では約2倍に規模拡大した、熊本市西区河内町の福島徳秀氏が事例発表を行った。  
他県からも特徴ある若手経営者が登壇し、令和新時代に相応しい若い力溢れる取組事例を発表。  
また、2日目は、熊本市・玉名市・南阿蘇村の3コースに分かれて現地視察研修を実施した。
- 内容
- ・【全体会（22日）】開会式、取組事例発表、サミット宣言、次期開催県挨拶（大分県）
- ・【現地研修会（23日）】熊本市（①(株)アグリ飽田、②JA熊本市野菜選果施設）、玉名市（①JAたまな選果場、②(株)水本オレンジガーデン）、南阿蘇村（①南阿蘇村農業研修生受入協議会、②南阿蘇ふれあい農園）の3コースに分かれての視察研修



（くまモン オープニングセレモニー）



（桑原会長 開会挨拶）



（事例発表の様子）



（現地視察の様子）

# 25周年の軌跡



## 平成12年4月28日 組織設立



- 平成12年3月末（設立当時）時点で、認定農業者が8,256経営体となっており、数では全国3位。
- 当時、市町村段階においても、平成6年11月に県内で最初に立ち上がった「西合志町認定農業者同志会」を含め、46市町村、47組織が設立され活動されていたことを契機として、県段階の組織化の機運が盛り上がり設立。

## 平成12年9月8日

### 「市町村認定農業者組織代表者等交流会」の開催

#### ～ 第3回全国認定農業者サミットプレサミット～



- 「県立劇場大会議室」にて開催。このプレサミットのパネラーで登壇された女性代表者の発言がキッカケとなり、全国に先駆けて本県独自の連名申請での認定がスタート。現在の共同申請による女性の経営参画を促す取り組みとなった。

平成12年11月27～28日

「**全国認定農業者サミットinくまもと2000**」開催



・ **テーマ「21世紀農業へのチャレンジ」**

「新たな共生とネットワークづくりによる元気な農業を目指して」

- ・ 開催場所：熊本市民会館、熊本ホテルキャッスル
- ・ 全国各地から1,800名を超える認定農業者が本県に集い、テーマに沿った意見交換・交流を図った。

平成13年～平成21年まで

「**熊本版サミット（市町村認定農業者組織代表者等交流会）**」を毎年持ち回りで開催



**平成19年11月6日**  
**全国に先駆け「女性部組織」設立**



- 設立総会の様子と、設立時の女性部役員を紹介

**平成22年11月25日**  
**「設立10周年記念式典」を盛大に開催**



- 「ホテル熊本テルサ」での式典の様子

## 平成28年1月29日 「認定農業者推進大会」を開催



- 組織15年目の節目に初めて「熊本県認定農業者推進大会」を開催。「合志市文化会館 文化ホール」にて、約350名の会員等が参加した。

## 平成30年1月23日 「女性部設立10周年記念式典」の開催



- 全国初の女性部設立から10年目を迎え、設立10周年記念式典を盛大に開催。約240名の女性部会員等が参加した。

**平成30年2月6日**

**平成29年度熊本県男女共同参画推進事業表彰を受賞**



- 全国に先駆けて設立した女性部や、その活動が認められ、農業者組織として初めて受賞。

**令和2年7月～9月**

**令和2年7月豪雨災害被災地支援**



- 令和2年7月に発生した豪雨災害により、県南地域（八代・芦北・球磨）を中心に甚大な被害が発生。本連絡会議会員が、被災地支援としてボランティア活動を実施した。

## 令和4年度～現在

### 「農政セミナー並びに新春賀詞交歓会」の開催



- 熊本県農業会議との共催により、令和4年度から「農政セミナー並びに賀詞交歓会」を開催。
- 農業委員会組織と認定農業者組織が一堂に会し、地域農業の展望と担い手が目指す方向性について意見交換を実施。

### 「社会貢献活動」の実施



- 新型コロナウイルス感染拡大、長引く物価高騰等で「困窮する大学生」や「ひとり親家庭」「子ども食堂」等を支援するため、会員が生産する米や野菜などの農産物等を提供する「社会貢献活動」を実施。令和3年度以降も継続して実施している。